



本日、財団委員会アワーを担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

先日、本條会員からロータリー財団について教えていただいたお話ですが、ロータリー財団は、単に慈善団体として恵まれない方々に金品を交付すれば足りると考えているのではなく、その根本において、ロータリアンの献身（思いやり、奉仕の心。そして、それにもとづく具体的な行動）がなければならないという理念があります。お金だけに価値を置くのではなく、「お金」×「ロータリアンの献身」＝「価値」と考えているのだということです。

ロータリー財団が目標とすることは、奉仕や善意にもとづく活動（例えば、奉仕活動・親善活動・教育活動）を通じて、善意による紛争予防を実践し、世界平和を築いていくことにあります。

そして、皆様もご存じかと思いますが、ロータリーの年次基金は、6つの重点分野に関する世界中の取り組みに活用されており、重点分野は、これまで、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、であったかと思いますが、今回、新たに環境の保全ということがテーマとして加わったようです。

環境問題一つをみても、地球温暖化の影響を止めるためには、オーストラリア大陸に匹敵する面積を覆うだけの森林が必要と推定されているようですが、アマゾン熱帯雨林は、現在も違法伐採が続いています。オーストラリア東部の森林も、2019年だけでも干ばつや高温による火災で東京都の20倍以上の面積が焼失したそうです。今、世界は、コロナ禍の影響もあり深刻な事態となっていますが、森林の焼失をはじめとする自然環境の悪化、地球温暖化の進行は深刻化の一途を辿っていることを実感しています。ロータリー会員が、地域の一員として、日本国民の一員として、世界市民の一員として、少しずつでも慈善活動に力を添えていくことは、意義があることなのではないかと考えています。

ロータリー財団への温かいご寄付を、どうかよろしくお願いいたします。

以上